

保護者等からの児童発達支援事業所評価の集計結果(公表)

公表:平成 31 年 3 月 28 日

事業所名 児童発達支援センターはぐはぐ子ども村 保護者等数(児童数) 26 回収数 19 割合 72 %

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
環境・ 体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	19					活動のスペースは十分であるが、集団活動や保護者参加型の活動時のスペースを確保したい。
	2 職員の配置数や専門性は適切であるか	17	1		1		常に適切で、専門性はあるが、利用者保護者への周知に工夫が必要である。
	3 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境*1になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	19					設備はバリアフリー化しており、車いす等も対応ができるようになっている。また、室内では、絵やカード等を使用し、利用者によりわかりやすく構造化している。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	19					常に清潔を保ち、危険な環境のチェック改善を行っている。また、感染症の予防にも注意を払う。
適切な支援の提供	5 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画*2が作成されているか	19					日々のミーティングに加え、職員全員と毎月ケース会議を持ち、状態を把握し共通理解した上で、児発管が支援計画を作成し、計画を職員に周知している。
	6 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」「発達支援(本人支援及び移行支援)」「家族支援」「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	17				2	提供すべき支援内容に基づき個々の支援に必要な項目が支援計画には選択されているが、利用者保護者への周知を工夫していく。
	7 児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	16	1			2	計画に沿って支援が行われているが、6か月後の支援計画作成までの間の見直しも必要である。
	8 活動プログラム*3が固定化しないよう工夫されているか	16	1			2	カリキュラムはあるが、個々の状態や特性に応じて柔軟に対応できるようにしている。
	9 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	11	2			6	当園は保育園、幼稚園との並行利用であるので、所属している園との交流はある。また、年に2回のイベントには、利用者以外の参加もあるので機会が少ないが交流はある。
	10 運営規定、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	18	1				契約時に、わかりやすい説明を心がけてはいるが、もう少し時間をかけて説明する必要がある。
	11 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明がなされたか	18				1	ガイドラインのねらいについての説明が不足していると思うので、今後きちんと説明していく。
	12 保護者に対して家族支援プログラム(ペアレントトレーニング*4等)が行われているか	14	2			3	以前行われた受講できなかったため受講してみたいです。
	13 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況、課題について共通理解ができているか	14	4			1	連絡帳などで利用した日の様子を聞けるといいです。
保護者への説明等	14 定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	17	2				1、2か月に1回でもこうやって接するとよさそう等助言がほしい、文書等。そうすると主人もみてくれるかもしれない。
	15 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	7	2		1	9	父母の会は開催していないが、母子通園やイベント時に小さなネットワークまでできている。しかし、事業所主体の連携のための働きは行ってないので改善したい。
	16 子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申し入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	15	1			3	相談の申し込みは、電話や面接等で対応しているが、今後は、相談できる窓口の周知を強化してもっと気軽に相談できる環境をつくっていく。
	17 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	16	2			1	保護者からの問い合わせ等には対応しているが、事業所からの発信が少ないと思われるので、改善する。
	18 定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	18				1	毎月、写真入りの「おたより」を発行し、活動の様子や連絡事項、防災訓練の様子など発信しているが、業務に関する自己評価の結果は入れていないので、工夫していく。
	19 個人情報の取り扱いに十分注意されているか	17				1	個人情報の取り扱いについて、職員に徹底させているが、事業所間のメールのやり取りに細心の注意を払いたい。
	20 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか。	9	1	1		8	発生を想定した訓練は実施しているが、マニュアルの策定や保護者に対してもっと詳しい説明が必要だと思われるので改善する。
非常時等の対応	21 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	8		6	5		年間計画で、避難訓練は行っているが、職員、特に非常勤の職員に対する周知が徹底されていないと思われるので、文書で渡すようにする。
	22 子どもは通所を楽しみにしているか	18				1	*朝おきてからの気分が不安定が多い。とても楽しみにしています。 *〇〇先生と遊んだとこにこしながら教えてください。 *いつも楽しみにしています。
満足度	23 事業所の支援に満足しているか	16	3				計画に沿った支援が行われているか、支援の方法はこれでいいのか、常に検討・見直しが必要と思われる。

*1 この部屋で何をやるのかを示せるように、机や本棚の配置など、子ども本人にわかりやすくすること。

*2 児童発達支援を利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的な内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のこと。児童発達支援センター又は児童発達支援事業所の児童発達支援管理責任者が作成する。

*3 事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のこと。子どもの障がい特性や課題、平日/休日/長期休暇の別等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されている。

*4 保護者が子どもの行動を観察して障がいの特性を理解したり、障がいの特性を踏まえた褒め方を学ぶこと。子どもが適切な行動を獲得することを目標としている。